



保健だより



6月
令和7年
2025年

百日咳が流行っていますね。

今月は**百日咳**のお話をしましょう。

『百日咳』・・・咳が3ヶ月以上続くことから、この名前が付けました。百日咳菌による呼吸器感染症（飛沫感染）です。名前の通り咳が完全に治るまでに3か月程度かかります。

潜伏期は6～20日

発症からの経過は

鼻水・咳が出るカタル期（1～2週）

激しい咳が連続して起こる痙咳期（2～4週）

徐々に咳が落ち着く回復期（1～2週）

発作的に出る咳がこの後2～3週続く

ケロ ケロ



典型的な『百日咳』の咳は激しい咳・・・とても特徴があります

乾いた連続する咳

コン・コン・コン・コン

それに続く息を吸う時に

ヒュー----- とか **ヒュー-----**

この**コン・コン・コン・コン・ヒュー-----**が運動や興奮、食べ物での刺激で反復出現。繰り返し!!



6ヶ月未満の乳児が感染すると呼吸困難や呼吸停止など重症化する可能性があるため要注意！
そのために2ヶ月から始まる4種混合ワクチン（最近は5種混合ワクチン）に含まれ、乳児期に免疫獲得するように定期予防接種に組み込まれています。しかし、終生免疫ではありません。
一生続く免疫ではないため、最近は学童や成人に追加接種が勧められています。

治療は

2週間の抗生剤投与
＊菌なので抗生剤
が効きます

初期治療で注意すること



家庭では空間を清潔に
咳の出る刺激を避ける
（タバコ・線香・辛いものなど）
十分な加湿を行い気道粘膜を保護
水分不足になるのでこまめに補水

感染力は治療開始から5～7日程度で消失するので診断早期からの治療が望めます。

＊予防接種の対象は2ヶ月から90ヶ月

！期初回免疫は1歳になるまでに完了を！！